

令和5年度 自己評価報告書

令和 6年 4月 1日

太田東保育園

1. 本園の教育・保育理念、教育・保育目標

『教育・保育理念』

「信（信仰・信念）・誠（誠意・責任感）・敬（尊敬・人権尊重）・愛（慈悲・愛情）」
を四眼目とした保育を行う。

すべての子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障し、愛護するとともに
最善の利益を守り、子育ての負担感の緩和を図り安心して子育て子育てができる
環境を整える。

『教育・保育目標』

生命の安全を守れる基本的な習慣を身につける

「つよいからだ」「やさしいきもち」「すなおなところ」

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

『目標』

自園の教育・保育理念、教育・保育目標を全職員が理解する。

『基本的な習慣』を見直し丁寧な関わりを心掛ける。

活発な意見交換をし、質の高い教育・保育を目指す。

『計画』

- ・“太田東保育園の職員像” を常に意識しながら職にあたる。
“柔軟な考え” “考動” を実践する。
- ・園内研修、外部研修の充実を図る。
- ・各マニュアルの見直しをする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育・保育理念、教育・保育目標の理解のための園内研修	B	職員勉強会で“太田東保育園の職員像”を読み合わせ再確認し共通理解を図る。理事長や外部講師にお願いし、「ベーシックシート」を活用し一人一人が自らを評価し振返る。それをもとに園長との面談を行った。

2	教育・保育の質の向上のための園内研修	A	4月“太田東保育園の職員像” 6・10月“群馬県幼稚園教育課程等研究協議会「これからの幼児教育の在り方について」” 7月“救命講習” 東部消防署 9月「主体的な保育について」意見を出し合う 11・12月“阿部先生の勉強会” 「主役は子ども」「自己肯定感をどのように高めるか」 *理事長先生との話し合い
3	マニュアルの見直し	B	運営や教育・保育に沿うようにマニュアルを見直した。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	* 園内研修アンケートにて『主体的な保育』についてたくさんの考えがあることが分かった。この事をふまえて理事長先生や外部講師（阿部先生）の研修を行い、振り返り、「今、太田東保育園に欠けていること」に気付くことができた。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組むべき課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	研修・研究	丁寧な関わりについて勉強会を重ね、外部講師（阿部先生）を招いて更なる質の向上に努め職員同士で情報を共有する。
2	マニュアルの見直し・作成	作成したマニュアルを見直し、より使いやすいものにしていく。

6. 財務状況

県・市の指導監査により、適正に運営されていると認められている。
